



# 会員・職員の声

## シルバーに思う

特別会員 加藤 甚三



設立30周年を迎え心からお慶び申し上げます。  
私は7年程前4年間事務局員としてお世話になって、印象に残っている指定管理者制度導入による就業場所確保への挑戦、障害者のための自助具開発の工房の立ち上げ、ともに全国的にも初の試みとして取り組んだ事が忘れられません。今後高齢者人口の増加に伴いセンターの役割に期待する一方運営の厳しさが増してくるものと思われませんが、高齢者にとって健康で楽しい日々を送るための就業場所として発展することを期待しお祝いの言葉とします。

## 若い芽と育む

鳥居本学区 松崎 修



彦根市シルバー人材センター発足30周年おめでとうございます。改めて関係者各位のご努力、ご尽力に敬意を表します。私は会員になって4年目を迎えます。  
放課後児童クラブで週2日程度、低学年のお子さんを保護者の方が迎えに来るまで、宿題・おやつ・室内遊び・好天の時は屋外遊びなどで過ごしています。将来、日本の国を背負う人材を育成している学校、学校と家庭の空間時間を児童クラブで埋めています。従事している我々は子育てに参加出来る喜びをかみ締めて今後も務めて行きたい。

## あれから50余年

稲枝西学区 上林 善幸



私は昭和34年に電機会社に入社いたしました。当時物価は今よりもはるかに安くその分賃金も低く、それは苦しい生活の昭和の激動時代を働く事43年、厳しい荒波に揉まれ仲間たちと切磋琢磨し、そして定年を迎え、今、諸先輩が営々と育ててこられたシルバー人材センターにお世話になって数年、慣れない仕事に先輩やシルバーに迷惑を掛けましたが永年の勤めで培った経験と何くその根性で頑張っしてシルバーのスローガン生涯現役をモットーに健康に気を付け社会に奉仕して行きたいと思ひます。

## 大きな絆の輪が

平田学区 鶴岡 寛子



シルバーの仲間に入れて頂いて、10年少々、若い時には考えてもみなかった年齢になりました。ある時事務所の方からヘルパーの資格を取ってみないか、65歳がタイムリミットという事で資格を取り、それに携わる仕事をして来ました。今は宅老「ふれあいの家平田」でボランティアをしています。13名のスタッフの方の細やかな計画で来て頂いている方と賑やかに、笑ったり泣いたり楽しく過ごしています。今の私の喜びは、たくさんの友達が出来、大きな絆の輪が出来て、いずれ私も入る年齢になった頃には若いスタッフの方が後を引き継いで発展することを願ひます。

## 祝 設立30周年

副理事長 中島 則雄



設立30周年おめでとうございます。  
公益社団法人彦根市シルバー人材センターも1,000名を超える大所帯となりました。皆様の協力で業績も確実に伸びており、心よりお慶び申し上げます。  
私がシルバー人材センターにお世話になるようになって11年になります。当初は事務局にいましたが、1年目に皆さんと手作りの「20周年記念式典」をお祝いした事がつい最近の事のように思い出されます。  
この10年間いろんな方と一緒に仕事や趣味を通じ、喜びや苦しみ、楽しみを体験することが出来ました。  
現役時代会社一筋の世間知らずが、シルバーに入会したお蔭でたくさんの諸先輩と巡り合い、人生の再出発が出来たと感謝しております。この出会いを生涯の宝、財産としてこれからも一層精進して行きたいと思ひます。後何年皆さんと交流出来るか疑問ですが、一緒に40周年を迎えたいものです。

## 就業のよろこび

金城学区 雨森 昭夫



現在私たち会員3名は、大阪にある有名私立大学の彦根市にあるセミナーハウスの管理人を任されています。利用者は大学教授、学生達で接遇の心得、気配りを要する大切な仕事です。私が管理を任されて最初に掲げたモットーは「利用者には安心と満足、大学には信頼を」です。我々の勤務態度がセミナーハウスの評判、利用者の増加という数字になって表れます。  
それだけにやりがいのある仕事です。

## シルバー会員として誇りに思う

旭森学区 緒方 年彦



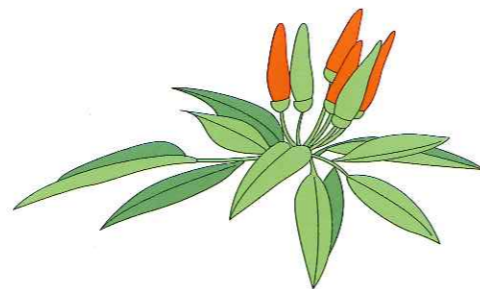
シルバー人材センター30周年記念おめでとうございます。改めまして先輩方々のご尽力に対し感謝申し上げます。入会致しまして5年、入会前は他企業で約40余年一筋の勤務、従って就業時はさまざまな企業を定年退職された方々で人間関係、考え方の違いの問題が多々ありました。また、安全、安心で貸出されている企業と思ひていましたが、見て驚き、これではと思ひ前企業で習得した知識を生かしたいと思ひ、私流のボランティアをしようと心に決めた。しかし、一部の人から「業務内容が違う」「シルバーだから」の意見を出され、請負と派遣の考えの違いに戸惑いを感じさせられました。今では一緒にタイヤの取替えも行い共働共助していることを嬉しく思ひます。お客様からも「安全安心で利用できます」の言葉を頂き、又会社からもシルバー会員を信頼して頂き誇りに思ひます。日々成長、生涯現役の言葉が好きです。これからは健康を保ち、生きがいを持ってシルバー会員として地域社会に貢献し私益の為にもシルバーのモットーの理念を基本とした考えの趣旨に賛同しがんばります。

## また一つチャンスをもって

城北学区 小野 厚子



退職して10年。人生後半の種蒔きを終え成長を見ている間にシルバー人材センターにお世話になる年齢になりました。紹介頂いても続けられない仕事もありましたが、今は広報配布をしています。慣れない時は地図を片手に苦戦し、配布漏れがあり迷惑をかけました。慎重に続ける内にお届け先で庭の花や果実の事、可愛いお子さんの仕草に立ち話も出来るようになり、「御苦労さま」のひと声に力をもらっています。自分のペースで出来る仕事で喜んでます。歩こう会に入会させて頂き、賤ヶ岳や伊吹山へ行きました。以前私が詠んだ川柳に「また一つ チャンスをもらって渡る橋」があります。皆さんと仲間意識が芽生え、打ち解け合い、人生の先輩たちに勉強させて頂きながら、新しい橋を渡り始めました。これからは欲張らず余裕をもって仕事を続けていき、社会との繋がりを大切にしていきたいと思ひます。

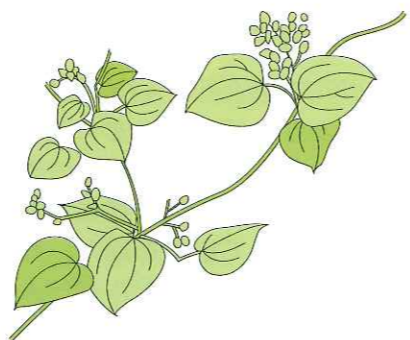


## 剪定の喜び

鳥居本学区 佐々木 秀幸



若い頃から会社勤務の傍ら、森林関係の仕事をしていました。定年退職後思い立ち、自分の人生の残り時間を樹木や庭木等の剪定の仕事とを考え、シルバー人材センターに入会しました。剪定の仕事は、自分自身の手で樹木を形造り、その達成感がありやりがいのある仕事であると思います。また、仕事仲間と作業をする過程において意志の疎通も図れます。そして作業の依頼主との交わりも出来、お年寄りからは昔の話やさらには家族の事、世間話などいろいろと話題が尽きないこともあります。また、剪定作業の場所が市内の随所にあり世間を見る目が広くなり楽しい日々が送れます。しかし、夏の暑さにも耐えねばなりません。この仕事が私の生涯の勉強と考え、体力の続く限り頑張っていきたいと思っています。



## 学童と楽しい触れ合い

若葉学区 端崎 孝



彦根市シルバー30周年おめでとうございます。私は平成14年2月に会員になりましたので、11年お世話になっています。現在までに河瀬駅前駐輪場、若葉小学校の学童保育、今は子どもセンターで仕事をしています。今までで一番印象に残っている事は、学童保育で子供たちと触れ合うことが出来た事です。特に遊びの時間に大縄跳びでは長い行列が出来、私は回し役で長い時間、声を掛けながら回していました。

また、夏休みにはゴムのプールを教室の前に出し、子供たちにホースで水を掛けてやると奇声を上げて大騒ぎ。楽しく子どもたちと交流出来て幸せでした。

## 三十周年記念に寄せて

城東学区 田部 健次郎



三十周年誠におめでとうございます。論語に三十にして立年（益々盛ん）と言います。これからも右肩上がり、皆さんと共に発展して行きたいと思っています。

小生自身も古希の節目の年を迎えましたが、気持ちは青年の思いで取り組んでいます。シルバーとの出会いは現役を引退して、する事がなく身の置き場所を失くしてこのまま時間が過ぎていく、何かをしたいと思ひ入会しました。それから九年目を迎えます。最初の就業は遺跡発掘の仕事でした。夏は炎天下、冬は北風の冷たい中での作業は体力的にはきつい所がありますが、体を動かし、変化のある仕事を好む私には、生に合っているのか今も断続的ですが続いています。先日の松原内湖遺跡の説明会に県内外の多くの人に参加されており、文化財保護協会の説明に感心され納得されている様子に「ヤッター」と心の中で呟き、表に出ることはないけれど、歴史に触れることが出来る発掘のメンバーとして、こんな仕事は楽しいな！と思う。きつい所の作業を助けて頂いた仲間へありがとうの感謝でいっぱいです。

## 仕事のある幸せ

城北学区 黒川 由江



シルバー人材センターのお蔭で、仕事を与えてもらえ、働ける喜びをかみ締めています。今までに紹介頂いた仕事は、家事手伝い、放課後児童クラブ、スーパーのデリカでした。初めて職場に出勤する時は、勇気が要ります。そして新しい仕事や人に慣れるためのがんばりも。今までのさまざまな経験を生かし、より良い仕事出来るように、又、おおらかな気持ちで良い人間関係が築ける様に臨みます。上手くいかなかった所は反省し、日々進化です。高齢者の長年の培われた能力を、再び社会に生かす機会を与えて下さるシルバー人材センターの存在は重要です。高齢者が生き生き暮らすために、又、次世代の人々が先人の知恵を引き継ぐためにも、何卒宜しくお願いします。

## 気力と体力が続くかぎり

河瀬学区 近野 幸子



シルバーに入って十年、手取り除草、家の中の清掃、ガラスみがきに学童と、気力と体力が少しでも維持出来ればとの思いで頑張っています。いろいろ苦勞もあります。掃除の仕方やゴミの仕分け方の注意、ガラスは弱く破れやすいので失敗したこともあります。その中でも夏の焼きつく暑さの中の作業が一番辛いことです。それでも草を取り終わったときの満足感、怪我もなく、病気にもならず一日が終わった時の充実感、皆んなで帰り支度をする時のさわやかな気持ちに癒され、頑張ってきた。メンバー四人との出会いを大切にして、自主、自立、共働、共助の心を忘れずにシルバー会員に恥じない一人でありたいと思っています。

## 私のハッピージョブ

佐和山学区 松井 節子



シルバーに入会して、あっという間に10年の歳月が流れました。ポスティングの仕事をして頂いて、一番の気掛かりは天候です。何日も雨降マークが続くと「困ったなあ、月末までに終わるかなあ」と心配になります。良い天候は1年を通じて数日程しかありません。一番辛いのは真夏のアパートの配布です。「こんき」を左脇に抱えて階段を昇るのは大変な作業です。又、真冬の雪道を転ばないように歩くこともとても気を遣います。でも苦勞ばかりではありません。ポスティングを訪れると「今日は何を持って来てくれたん？ ご苦勞さま」と手渡しで受け取って下さる方々。暑い日は「お茶を一杯飲んでいき」と優しく声を掛けて下さる方もいらっしゃいます。そんな時は心からこの仕事をして良かった、もっともっと頑張ろうと思ひながら家路に着きます。私はいつも自分に言い聞かせている事があります。それはグループでの仕事では無いので、自分が100%以上の仕事をしなければ良い結果と良い評価は生まれ無いという事です。そしてまだまだギブアップはしません。目標は80歳としています。天国にいる主人も「お節、お前やったら頑張れるぞ」と言っています。

## 豊かにシルバー人生

城西学区 成宮 決子



子供達の独立、父母、義父母の看取りを終えた時、余暇を生かす道として、十年程前に入会しました。

書道に関する仕事、放課後児童教室、高齢者の病院への送迎などを経験し、今は広報の配布をしています。

この経験から子育ての問題、高齢者の福祉の問題などに目を向けて考えるようになりました。広報の配布は適度な運動になると前向きに取り組んでいます。年齢を重ね、社会参加の窓口は限られてきていますが会員としての責任を忘れず仕事を続けたいと思っています。

## つながりに日々感謝

城南学区 田中 利久



シルバー人材センター創立三十周年おめでとうございます。定年後、第二の人生を歩み自分の居場所を見つけシルバーに入会する。数々の就業、講習を得て、会員メンバーとの出会いと共に多くの人に支えてもらい人生の貴重な体験をさせて頂きました。更に運良く抽選で「介護ヘルパー2級」「子育て支援ヘルパー」の講習にチャレンジ出来た事です。その為にも自分自身が視野を広げ、何事にも挑戦し、経験を積み重ねて生涯学習を続けて行きたいと言う意欲を感じ学びました。これからの人生をいきいきと輝いて生きる為、社会との係わりを持って、同時に自分が高齢化社会にいかに対応していけるか、どの様な貢献が出来るのか考えたい。又、人との絆を生み互いに支え合い、自分に真っ直ぐでいる事が人生そのものを豊かにしてくれ、家庭での実現につながる体験でもあったのです。元気な身体に日々感謝し、更に世のため、人のためにお使い頂ける自分になれるよう精進努力してまいります。今後ともご指導頂きますようお願いいたします。

## ふりかえってみれば

金城学区 加藤 岩男



私は昭和の中期に他府県からある企業と共に来彦、現在に至ります。当時、市は企業誘致の最盛期で小泉、東沼波、高宮各町他その近辺でも工場建設ブームで活気付いていました。私はその地域で従事していた一人でありましたが、昭和の後期に早いもので定年を迎え第二の人生をシルバーでと決心し、入会し現在の私があるのです。当時初代理事長は疋田氏、初代局長は川嶋氏、他職員の配下で指導を仰ぎ今だ元気で就業に励める事に感謝感謝です。当センターは社団法人から公益社団法人に、又、県連合シルバー人材センターとして会員数も男女合わせて千名以上と発展の途を邁進しますので、我々会員も自主自立、共働共助の誠心を忘れることなく就労等々に頑張ろうと思えます。

## 感謝

平田学区 林 君子



今年は女性「姫」の剪定師さんを待っています。一緒に楽しくやってみましょう。男、女の区別はなくてはならない。差別は違う。泣けるくらい辛い時も、もう帰ろうと思った時も多々あった。今となってはそれも乗り越えて来られた。仲間に支えて貰い、助けて貰い、庭の姿、形が自分の意思で変えられて、認めて貰い、家主さんに喜んで頂いた時、その笑顔を見て、ああこの仕事を続けて来て良かったと「ホッ」とする。帰りに「来年も来てなあ、待ってるし」と、手を握って肩をポンポンとされると一層親しくなり、これだけは女性でしか味わう事は出来ない。本当の親しみでもあり、喜びでもあります。

「二兎を追うものは一兎をも得ず」を知っている。ある日友達の紹介で民謡（尺八）の先生と出会えて大きく変わった。今はもう止めることは無理、今年は大きな大会に参加して、壁とは違う扉だと思って夢を追いかけ挑戦したいと思っています。幾つになってもお手本となる人を追いかけ、見習って、昨日よりも楽しく過ごしたいと思っています。

## 光陰矢の如し

高宮学区 山下 利男



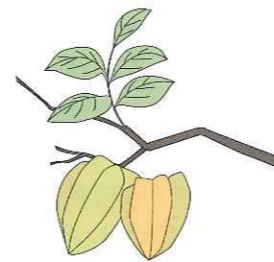
歳月は人を待たず 落花枝に戻らず 光陰矢の如し月日の経つのは早いものです。私がシルバー人材センターにお世話になったのは平成十年でした。早や十七年になります。その間事務所の方々、そして会員様に色々お世話になりました。有難うございました。感謝の気持ちで一杯です。私は時々仏教を聴聞に行きます。仏教とはお釈迦様が私達には想像を絶する修行をなされて、三十五歳の時、仏という悟りを開かれて八十歳でお亡くなりになるまでの四十五年間、仏として説かれたお教えを仏教といいます。生まれ難き人間に生を受け、尊き御教えを聞かせて頂けるわが身を喜び、仏教の根幹や人間に生まれた目的を聴聞させて頂いております。善因善果、悪因悪果、自因自果、善をすればよい結果(幸福)悪をすれば悪い結果(不幸)、自分の行為は自分に返ってくる。他因自果は絶対ないと教えられています。深い深い御教えです。詳しくは何も書けません、少しでも廃悪修善に向かいたいと思っています。今後は健康に気を付け、日々感謝の気持ちで生活できることを願っています。

## ふれあいの家「ひらた」

亀山学区 田中 晴美



お世話になってまだ1年足らずの私です。先輩の皆様が、いろいろな特技をお持ちで博学でいらっしゃるのにまず驚きました。何も出来ない私は恥ずかしい思いです。最初の頃の事です。「私は週に一回ここに来るのが楽しみなのよ。家に居たら話し相手もない、笑う事もない、ここに来るのが待ち遠しいの」こんなことを言われました。確かに独居のお年寄りが、たくさんいらっしゃいます。淋しい思いをされているなら、その気晴らしのサポーターが出来る楽しい仕事だと思いました。自分のやれる範囲ですが、皆さんの元気なパワーをもらって頑張りたいと思います。



## 元気だったら家に居るな

城陽学区 宮川 圭史



創業30周年おめでとうございます。年月が経つのは早いもので、私が入会させて頂いたのが平成12年ですから丁度15年の歳月が過ぎました。最初は彦根城周辺のゴミ拾いから十種類の就業機会を頂きました。この間六年間の役員も経験させて頂き、再々素晴らしい出会いをさせて頂き、皆さんに感謝申し上げます。私が会社を退職する時先輩から「元気だったら家に居るな。毎日100人と出会う」と教えられました。生涯現役、まだまだ頑張ります。

今後ともよろしく申し上げます。

## 児童クラブと関わって

旭森学区 亀井 芳子



現在私は児童クラブに春夏冬の休みと時々関わっています。児童は学校から帰るとホッと一息し、その日の宿題に取りかかります。遊びの時間になると色々な遊び道具の中から自分の好きなものを選んで、指導員や友達同志で遊びを楽しみます。遊びが展開されていく過程で発想に着目していると「キラッ」と光るなにか無限の力を感じます。未来がとても楽しみで大きな希望さえ持っています。指導員さんは児童が自由に興味を持ち、遊べる環境整備や一人一人の思いを受け止め優しく声掛けしたり細かな配慮をされています。そんな手伝いに私も微力ながら関わらせて頂けてる事に感謝します。今日まで数年間同クラブでお世話になり多くの事を学び、感動しました。児童との出会いは私の貴重な宝物です。あと少し健康な限りお役に立てればと思っております。

## 遺跡発掘に携わって

城西学区 日下部 紀男



サラリーマン人生の定年後は何の取り柄もない自分だが、一日中陽の当たる所で歴史を解明する遺跡発掘に携わってみたいと考えていた。シルバー人材センターの入会説明会で種々職種はあるが、今、遺跡発掘の人員を募集していると言われ、すぐ応募した。その発掘現場は彦根東高校の中であった。初日から発掘の業務とはどの様な事をするか余りにも無知であったかを思い知る。まず発掘に使う基本の道具はガリ(三角刃)で、どの様に扱うのかわからない。現場責任者の方が説明してくれるが、私には扱いきなす事が出来ない。又、中腰で地面との覗めっことであり、体力がいる究極の土木作業である事を知る。何事も最初は一年生。慣れる事慣れる事と思うことにした。日々の発掘の中で遺構の見方、遺物の歴史的な背景の説明をしてくれるのを受け、発掘の楽しさ、面白さがわかり続けている。

## 明日へ

旭森学区 南部 聖子



シルバー人材センター設立三十周年おめでとうございます。そしてありがとうございます。早やお仕事をいただいて十年、不安と緊張、右往左往しながら始めた掃除作業、エネルギーいっぱいの学童保育、我が子育てを振り返り時代の変化を感じつつ新鮮な気持ちで健康と共に頑張ることが出来ました。

いろいろな行事に参加する事で、楽しい思い出がひとつひとつ増えています。

ある新聞から素晴らしい言葉を見つけました。

今を生きる知恵

やってみなければわからない

生きてみなければわからない

だから今年も元気で頑張りたい

感謝の心を忘れず、明るく前向きに心を持ち、微力ながら社会参加が出来ることを喜びたいです。

## 私の社会参加

城南学区 黒澤 博



私は学校を卒業後四十二年間栃木市に住み、郷里の彦根市にUターンして来ました。当初は浦島太郎のような気がしていましたが、何か郷里のためにお役に立ちたいと思ってシルバー人材センターを訪ねました。丁度その折当時の加藤局長にお話を伺って、シルバー人材センターが障害者の支援事業を計画されていることを知り、会員になりました。「ひこね自助具開発工房」の始まりから参加させてもらっています。当工房では、皆さんがアイデアを出し合っており、素晴らしい自助具が数多く出来た事は、私自身も嬉しく思っています。現在は私よりももっと高齢の方が活躍されていますので、色々の経験を教わりながらこの活動を続けたいと考えています。昨年末には、当工房が社会参加活動の模範として、内閣府の大臣表章を受けることが出来ました。メンバーの皆さんと共に喜んでいきます。

## 三十周年に寄せて

旭森学区 中澤 富雄



彦根市シルバー人材センターは、今年で三十周年を迎える事になりました。設立時の社団法人から滋賀県より認可を受け公益社団法人に変わりました。会員数も私が十年前に入会した時は六百名を越えた位だったと思いますが、昨年には千名を越えるまでになりました。三十年の間には退会せざるを得ない会員もおられました。先輩会員の支えがあったので今にきていると思います。私が葉刈(剪定)班に入って四年位になりましたが、仕事をしている事に喜びを感じています。体を動かし汗をかいて仕事を覚え、お客様と話をし、その際、苦情を言われた事もあり、お詫びする事により緊張感を味わい、元気を維持することで頑張り続ける事が出来ました。これから先、シルバー会員の一人一人が彦根市民の方にシルバーはこんな仕事もしていると広めて頂いて、彦根市シルバーの会員が増え五年十年先には会員数が千五百名(プラチナ会員を含む)位を目標にしてほしいと思います。最後に彦根市シルバー人材センター三十周年おめでとうございます。

## シルバー人生の一週間

稲枝北学区 平田 清司



月に十日の出勤、今週は月、水、金曜日が仕事です。

作業は軽作業ですが、正確な選別と適度な早さが必要でもあります。そのような作業の一日が完了した後の満足感と達成感、それに休憩時間の仲間との雑談の中にも今後の余生の参考となる話など聞くのが楽しみです。休日は二人の孫の相手をしてしながら、健康に気を付け、人生七十年に向い、一週間、一週間を有意義に、生涯現役を目標に過ごして行きたいと思っています。

## 介護支援に携わって

城陽学区 大菅 恵美子



超高齢化社会の今日、義母、父の介護を終え少しでも社会に貢献できればとグループホームで昼食作りと、介護支援に携わっています。健康で明るい生活をして頂けるよう気候の良い時は散歩、ドライブ、外食も皆さん大好評です。時にはボランティアグループの訪問で、紙芝居、手遊び、季節の歌を一緒に合唱したりと楽しい時間を過ごされています。お喋りする中で戦中戦後の苦労話を聞き逆に生きる力を貰います。又、「こんな良い所に入れて幸せです」と手を合わされると、仕事冥利に尽きます。でも、反面戸惑うことも多々あるが、同じ目線で融和な心をもって接すると心配顔も消え笑顔が見え介護する者として一安心です。十年後には高齢者の五人に一人が認知症という時代を迎えると言われていています。共に支え合う中でその人らしく当たり前の生活を全うするためのお手伝いができればと日々努力しています。

## 設立三十周年にあたって

職員 矢田 陽子



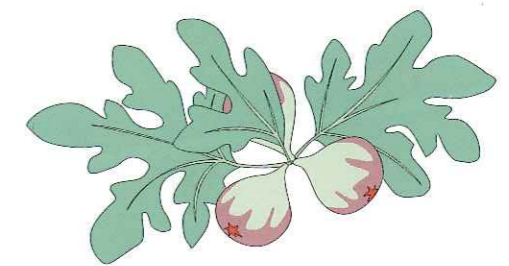
設立三十周年おめでとうございます。慣れない事務と、慣れないパソコンに最初は戸惑いながらの悪戦苦闘の毎日でした。失敗も多々ありましたが、色んなたくさんの経験をさせて頂き、あっという間の十五年でした。会員の皆様や周りの方々のお陰で無事務めさせて頂く事が出来ました。今までたくさんの経験をさせて頂いた事は、私の心の大きな財産となっています。これもひとえに、会員の皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝しております。今後、彦根市シルバー人材センターの益々の発展に微力ではありますが、事務局の一員として働かせて頂きたいと思っています。会員の皆様にはこれまで以上の一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

## これからも会員と共に

職員 江畑 利幸



シルバー人材センターに採用され除草業務を主に担当させて頂き、早や4年が過ぎました。いまだに感じる事は、暑い日、寒い日に関係なく、事務局からの就業依頼に応え、文句ひとつ言うことなく、テキパキと仕事をこなす会員には頭が下がります。また、最前線で就業している会員から現場ならではのやり取りやノウハウを教えてもらうことにより、仕事の内容が把握でき、会員とのコミュニケーションもスムーズに進み、とても大事だと感じています。安全就業はシルバー人材センターにとって最も重要な課題の一つです。全会員がケガや健康障害が起こらぬように、安全就業・健康管理及び交通安全の確保に努め取り組むことが大切です。「慣れと油断そして過信」が往々にして重大な事故の引き金になるという事です。「この仕事は自分が一番詳しく慣れている、だから、大丈夫」という気持ちには常に危険が忍び寄っています。慣れた仕事ほど、安全対策を怠らないようにしましょう。「事故ゼロ」を目指しましょう。私もあと数年で入会年齢に達します。会員たちのように意欲的に取り組めるように、日々過ごしたいものです。シルバー人材センターの主役は経験豊かな会員です。主役の皆さんの活躍の場を少しでも広げていけるように、脇役としてお役に立てればと思います。



# 写真で見るシルバーの活動

## 就業風景



松の剪定



庭の手入れ



パソコン事務



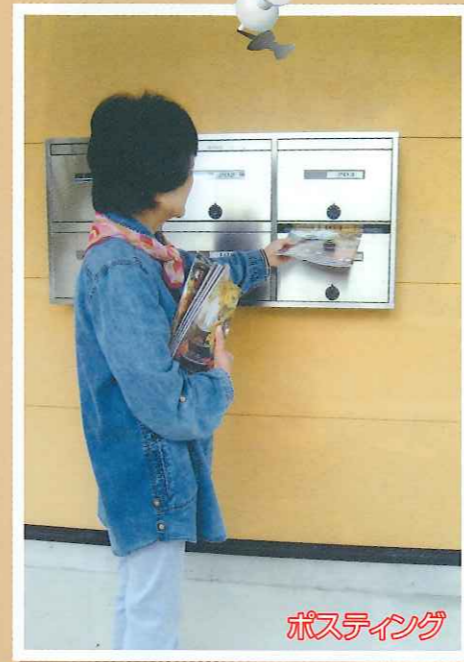
放課後児童クラブ (稲枝西小学校)



ふれあいの家ひらた (平田川花見会)



カート整理



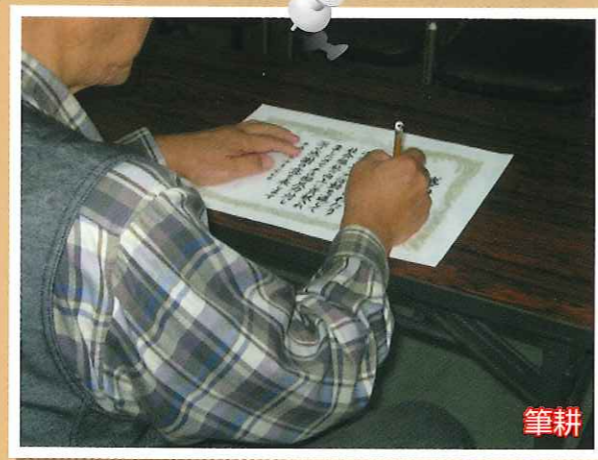
ポストイング



工場内軽作業



障子の張替え



筆耕



遺跡発掘作業



家事手伝い

# 就業風景



駐車場管理



レンタル自転車管理



ピンの選別



刈払い除草



手取り除草



花の水やり



生きがい農園の作物販売  
(旭森学区文化祭)



理事会風景



刈払機の扱い方講習



ハウスクリーニング講習



料理講習



第1回安全大会 中島安全委員長挨拶



安全パトロール

# 講習 自 風 景



ふすま張替え講習



児童とのかかわり方研修